



学校だより

1月号

令和6年 1月 9日
横浜市立三ツ沢小学校

「笑顔かがやけ!91周年」令和6年がスタートしました。

校長 高木 伸之

令和6年新しい年がスタートしました。年明け、大変なニュースが重なり、心を痛めております。皆様のご無事ご安心を心より願っております。さて、昨年は、皆様の多大なるご支援、ご協力のもとに充実した教育活動を推進することができました。心より感謝を申し上げます。

本校では、昨年11月24日(金)に「笑顔かがやけ!90周年感謝祭」を開催しました。感謝祭の第一部は、「子どもたちが中心となってお祝いする会」でした。みんなでまちの先生や、本校の元校長先生、先生方からのメッセージをいただき、100周年で開封する手紙をタイムカプセルに入れました。実行委員の子どもたちの全力でのクオリティーの高いパフォーマンスがみんなから大好評でした。大きなバースデーケーキには、各学級の代表者が、自分たちのクラスの学級目標が書かれたろうそくを立て、ハッピーバースデーを歌いました。みんなとびっきりの笑顔でした。



第二部は、「まちのみんなでお祝いする会」でした。みんなでダンスを踊った後、90周年を祝うくす玉が開きました。そして、バルーンリリース、1500個のバルーンが青空に映え、カラフルな模様が空いっぱい広がりました。みんなの90周年をお祝いする思いが「90周年おめでとう」という力強い声とともに高く舞い上がりました。

さて、今年、本校は91年目を迎えます。昭和8年(1933年)6月15日に三ツ沢尋常小学校として誕生した本校の児童数は508人だったそうです。4年後すぐに1000人を超え、大きな学校になりました。令和4年までの90年間の卒業生はなんと14323人に上ります。

今の三ツ沢小学校は、ほたるの愛育活動をしたりクジャクのピースを飼育していたり、水族館にウーパールーパーがいたり豊かな自然環境を生かした取組が自慢の学校です。ほたるの観察会には、昨年、一週間で3000人を超える地域の方々が来られました。また、地域の皆様に支えられた活動が盛んで、かがやきの時間にはたくさんの方々にいろいろなことを教わって、子どもたちの学びが豊かなものになっています。そして、学んだことを地域に学校に広く発信しているところも素晴らしいと思っています。50周年記念誌には、間宮初代会長(現PTA)により「すべての子供たちのために、学校教育の充実と向上を」と記されていて、地域の皆様の願いは今も脈々と受け継がれていると実感できます。

周年行事の後、タウンニュース様の取材を受け、紙面には、本校の記事がトップで掲載されました。その見出しが「地域と歩んだ90年」というものでした。「地域と歩む」、この上なくうれしく思いました。三ツ沢小学校はこれからも地域の中で、皆様とともに子どもたちを育ててまいりたいと決意を新たにしました。

最後に、創立90周年にあたり、七海雷児実行委員長をはじめ実行委員会の皆様の献身的なご尽力とPTA・地域の皆様の多大なるご支援ご協力に心から感謝を申し上げます。

本年も、皆様のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。